

江戸時代中後期における老中就任者と その在任期間について

白 峰 旬

緒 言

江戸時代の幕藩制社会において幕府職制のトップは将軍であったが、江戸時代中期（元禄期）以降の歴代将軍の中では、5代将軍徳川綱吉、8代将軍徳川吉宗などを除くと政治的指導力を発揮した将軍は少なく、幕政の実質的運営をおこなっていたのは老中であり、複数の老中が月番制により案件を処理していく体制をとっていた。

江戸時代における老中各自の在任時期については、これまでの研究史では、『角川新版日本史辞典』⁽¹⁾〔以下、一覧表Aと略称する〕、『国史大辞典』⁽²⁾〔以下、一覧表Bと略称する〕、美和信夫『江戸幕府職制の基礎的研究』⁽³⁾〔以下、一覧表Cと略称する〕において一覧表が作成されている。また、史料としては、『柳営補任』⁽⁴⁾において、老中各自の在任期間について記載されている。ところが、上記の一覧表A～Cにおいては、老中各自の在任期間について一致しないケースもあり、極端なケースでは就任時期が10年以上も食い違っているケース（秋元涼朝、阿部正允のケース）さえある。

こうした研究史上の不一致を是正するため、本稿では下記のように、基礎作業として表1～表3を作成し、それらを総括して表4を作成した。まず、月番の勤務状況（どの老中がどの月に月番を勤めたのか）が史料⁽⁵⁾に明確になっている寛延元年（1748）～安政5年（1858）までの111年間における各年に月番を勤めた老中の具体名について確定する作業をおこない、その作業結果を表1としてまとめた⁽⁶⁾。そして、表1で取り上げた各老中について、在任期間の各説を比較する意味で、一覧表A～C及び『柳営補任』による在任期間を提示し、あわせて月番表をもとに月番を勤めた期間と月番の回数も提示して、表2としてまとめた。さらに月番を勤めた回数を回数の多い順にソートかけたものを、表3としてまとめた。最後に総括として、表2において提示した各老中について、『柳営補任』をもとに各老中の在任期間を、西丸老中の在任期間と本丸老中の在任期間などというように区別して明示し、月番期間との整合性についても検討を加えて表4としてまとめた。表2と表4を比較するとわかるように、これまでの研究史において、一覧表B、一覧表Cは西丸老中の在任期間まで含めて老中在任期間としていたため、一覧表B、一覧表Cを見る限り月番期間と整合しないケースがあったが、表4を作成することによりその点の是正ができたと考えている。

表4によれば、老中の在任パターンとしては、①本丸老中（33例）、②西丸老中→本丸老中（17例）、③老中格→本丸老中（2例）、④本丸老中→西丸老中（2例）、⑤西丸老中→本丸老中→西丸老中（1例）、⑥西丸老中格→西丸老中→本丸老中（1例）、⑦本丸老中→西丸老中→本丸老中（1例）、⑧西丸老中→本丸老中→西丸老中→本丸老中（1例）、というように8パターンにわかれるが、上記①の本丸老中だけを勤めたパターンと②の西丸老中を経て本丸老中を勤めたパターンが多かったことがわかる。これらのパターンの中で、西丸老中の在任期間中や老中格の在任期

間中には月番を勤めていない点には注意する必要がある。つまり、本丸老中になってはじめて月番を勤めるのであって、逆に言えば、月番を勤めていた期間は、間違いなく本丸老中として勤めていた期間ということが言えるのである。

また、『柳営補任』の記載において注目される点は、松平康福と阿部正右について西丸老中の在任中、本丸老中の人数が少ないため、本丸老中の月番と加判を兼任したことが明記されている点である。2人ともその後、本丸老中になっているが、こうしたイレギュラーなケースが存在した点は注意を引く。この点に関しては、松平康福が本丸老中就任前の明和元年(1764)2月にすでに月番を勤めていることと、阿部正右が本丸老中就任前の明和元年12月、同2年(1765)4月、8月にすでに月番を勤めていることにより実際に月番の兼任が履行されていたことがわかる。老中奉書への署判についても、宝暦14年(明和元年)正月18日付老中奉書(大館城修補許可)に署判した老中は松平武元・松平康福・松平輝高の3人であったことから、実際に加判の兼任が履行されていたことがわかる。そして、この場合、兼任の松平康福を除くと、本丸老中は松平武元と松平輝高の2人しかいなかったことがわかり、本丸老中の人数が少なかったという『柳営補任』の記載が裏付けられる。また、明和2年9月23日付老中奉書(姫路城修補許可)及び、明和2年11月9日付老中奉書(田原城修補許可)に署判した老中は、松平輝高・阿部正右・松平康福・松平武元の4人であり、この時点では松平康福はすでに本丸老中になっているので、阿部正右は兼任という形で署判したことがわかる。このことから実際に加判の兼任が履行されていたことがわかる。この事例からは、本丸老中の職務として、月番と加判(老中奉書への署判)を勤めることは、本来、1セットの職務であったと考えられるとともに、本丸老中の人数が少なすぎると次の月番がすぐにまわってきて案件の処理に支障をきたすという事態になったことを窺わせる(例えば、本丸老中が2人の場合、隔月で月番をこなすということになる)。

今後の課題としては、本稿で作成した表4の本丸老中の在任期間をもとに、城郭修補許可の老中奉書に署判した老中の時期的整合性(老中奉書の年月日と本丸老中の在任期間との整合性)を検討する作業が必要であるが、この点については他日を期したい⁷⁾。

[注]

- 1 『角川新版日本史辞典』(角川書店、1996年、1276~1279頁)。
- 2 『国史大辞典』14巻(吉川弘文館、1993年、755~761頁)。
- 3 美和信夫『江戸幕府職制の基礎的研究』(広池学園出版部、1991年、149~155頁)。
- 4 『柳営補任』1〈大日本近世史料〉(東京大学出版会、1997年復刻、3~21頁)。
- 5 荒川秀俊「老中月番表」(『日本歴史』267号、吉川弘文館、1970年)。この「老中月番表」は、もと諏訪神社下社にあった記録「月番留并株筋」に基づいて作成されている。この「老中月番表」については、以下、月番表と略称する。
- 6 表1における各年の老中は、それぞれの月に月番を勤めた老中を各年ごとにまとめたものであって、実際には老中に在任した場合でも、松平信順のように在任期間が3ヶ月弱というように短期間だったため月番を1回も勤めていないケースや、松平定信のように何らかの理由により在任期間中1回しか月番を勤めなかったケースもあるのでその点は注意する必要がある。なお、松平信順については、月番を1回も勤めていないため表1には記載がないが、老中に在任したことは明らかであるので、表2・表3・表4には追加した。
- 7 拙著『豊臣の城・徳川の城—戦争・政治と城郭』(校倉書房、2003年)の第7章において、「江戸時代における老中奉書(城郭修補許可)の署名体制(老中のメンバー構成)の推移」として一覧表を作成したが、その解説において、一覧表A、一覧表Bとの比較検討の結果、一覧表A、一覧表Bに時期的に疑義がある場合は

その旨を記載した。しかし、その中では、『柳宮補任』をもとに作成した本稿での表4による西丸老中と本丸老中の在任期間の峻別などの作業をおこなっていなかったため、老中奉書（城郭修補許可）の年月日と老中の在任時期との整合性に関する検討作業において不十分な箇所があった。よって、今後は本稿での表4をもとに、老中奉書（城郭修補許可）の年月日と本丸老中の在任期間との時期的整合性を再検討していきたい。

表1

※この表は荒川秀俊「老中月番表」（『日本歴史』267号、吉川弘文館、1970年）をもとに作成した。

【凡例1】 …その年に最初の月番を勤めた老中（本丸老中）を示す。

【凡例2】 …その年に最後の月番を勤めた老中（本丸老中）を示す。

【凡例3】再役を勤めた老中については、1回目と2回目を①、②というように区別した。

寛延元年	<u>酒井忠知</u> （雅楽頭）・堀田正亮（相模守）・松平武元（右近将監）・本多正珍（伯耆守）	4人
寛延2年	松平武元（右近将監）・本多正珍（伯耆守）・堀田正亮（相模守）・ <u>酒井忠寄</u> （左衛門尉）	4人
寛延3年	堀田正亮（相模守）・松平武元（右近将監）・本多正珍（伯耆守）・酒井忠寄（左衛門尉）	4人
宝暦元年	堀田正亮（相模守）・酒井忠寄（左衛門尉）・本多正珍（伯耆守）・松平武元（右近将監）	4人
宝暦2年	本多正珍（伯耆守）・酒井忠寄（左衛門尉）・堀田正亮（相模守）・松平武元（右近将監）・ <u>西尾忠尚</u> （隠岐守）	5人
宝暦3年	松平武元（右近将監）・堀田正亮（相模守）・本多正珍（伯耆守）・酒井忠寄（左衛門尉）・ <u>西尾忠尚</u> （隠岐守）	5人
宝暦4年	本多正珍（伯耆守）・堀田正亮（相模守）・酒井忠寄（左衛門尉）・松平武元（右近将監）・ <u>西尾忠尚</u> （隠岐守）	5人
宝暦5年	酒井忠寄（左衛門尉）・ <u>西尾忠尚</u> （隠岐守）・本多正珍（伯耆守）・堀田正亮（相模守）・松平武元（右近将監）	5人
宝暦6年	本多正珍（伯耆守）・堀田正亮（相模守）・松平武元（右近将監）・ <u>西尾忠尚</u> （隠岐守）・酒井忠寄（左衛門尉）	5人
宝暦7年	酒井忠寄（左衛門尉）・ <u>西尾忠尚</u> （隠岐守）・本多正珍（伯耆守）・堀田正亮（相模守）・松平武元（右近将監）	5人
宝暦8年	<u>本多正珍</u> （伯耆守）・堀田正亮（相模守）・松平武元（右近将監）・酒井忠寄（左衛門尉）・ <u>西尾忠尚</u> （隠岐守）	5人
宝暦9年	酒井忠寄（左衛門尉）・ <u>西尾忠尚</u> （隠岐守）・堀田正亮（相模守）・松平武元（右近将監）	4人
宝暦10年	松平武元（右近将監）・酒井忠寄（左衛門尉）・ <u>堀田正亮</u> （相模守）・ <u>秋元涼朝</u> （但馬守）	4人
宝暦11年	松平武元（右近将監）・酒井忠寄（左衛門尉）・秋元涼朝（但馬守）・ <u>井上利容</u> （河内守）	4人
宝暦12年	<u>松平輝高</u> （右京大夫）・秋元涼朝（但馬守）・ <u>井上利容</u> （河内守）・酒井忠寄（左衛門尉）・松平武元（右近将監）	5人
宝暦13年	酒井忠寄（左衛門尉）・松平武元（右近将監）・松平輝高（右京大夫）・ <u>秋元涼朝</u> （但馬守）	4人

明和元年	酒井忠寄 (左衛門尉) · 松平康福 (周防守) · 松平武元 (右近将監) · 松平輝高 (右京大夫) · 阿部正右 (伊予守)	5人
明和2年	松平輝高 (右京大夫) · 松平武元 (右近将監) · 松平康福 (周防守) · 阿部正右 (伊予守)	4人
明和3年	松平輝高 (右京大夫) · 松平武元 (右近将監) · 松平康福 (周防守) · 阿部正右 (伊予守)	4人
明和4年	松平輝高 (右京大夫) · 松平武元 (右近将監) · 松平康福 (周防守) · 阿部正右 (伊予守)	4人
明和5年	松平武元 (右近将監) · 阿部正右 (伊予守) · 松平輝高 (右京大夫) · 松平康福 (周防守)	4人
明和6年	松平武元 (右近将監) · 松平輝高 (右京大夫) · 阿部正右 (伊予守) · 松平康福 (周防守) · 板倉勝清 (佐渡守)	5人
明和7年	松平輝高 (右京大夫) · 松平武元 (右近将監) · 板倉勝清 (佐渡守) · 松平康福 (周防守)	4人
明和8年	松平武元 (右近将監) · 板倉勝清 (佐渡守) · 松平康福 (周防守) · 松平輝高 (右京大夫)	4人
安永元年	松平武元 (右近将監) · 松平康福 (周防守) · 板倉勝清 (佐渡守) · 松平輝高 (右京大夫) · 田沼意次 (主殿頭)	5人
安永2年	松平輝高 (右京大夫) · 田沼意次 (主殿頭) · 松平康福 (周防守) · 板倉勝清 (佐渡守) · 松平武元 (右近将監)	5人
安永3年	松平康福 (周防守) · 板倉勝清 (佐渡守) · 松平輝高 (右京大夫) · 松平武元 (右近将監) · 田沼意次 (主殿頭)	5人
安永4年	松平輝高 (右京大夫) · 板倉勝清 (佐渡守) · 松平康福 (周防守) · 田沼意次 (主殿頭) · 松平武元 (右近将監)	5人
安永5年	松平康福 (周防守) · 松平輝高 (右京大夫) · 田沼意次 (主殿頭) · 板倉勝清 (佐渡守) · 松平武元 (右近将監)	5人
安永6年	松平武元 (右近将監) · 板倉勝清 (佐渡守) · 松平輝高 (右京大夫) · 松平康福 (周防守) · 田沼意次 (主殿頭)	5人
安永7年	松平輝高 (右京大夫) · 松平康福 (周防守) · 田沼意次 (主殿頭) · 板倉勝清 (佐渡守) · 松平武元 (右近将監)	5人
安永8年	松平武元 (右近将監) · 板倉勝清 (佐渡守) · 田沼意次 (主殿頭) · 松平康福 (周防守) · 松平輝高 (右京大夫)	5人
安永9年	松平輝高 (右京大夫) · 板倉勝清 (佐渡守) · 田沼意次 (主殿頭) · 松平康福 (周防守) · 阿部正允 (豊後守) (注1)	5人
天明元年	松平康福 (周防守) · 田沼意次 (主殿頭) · 松平輝高 (右京大夫) · 久世広明 (大和守)	4人
天明2年	田沼意次 (主殿頭) · 久世広明 (大和守) · 松平康福 (周防守)	3人
天明3年	田沼意次 (主殿頭) · 久世広明 (大和守) · 松平康福 (周防守)	3人
天明4年	田沼意次 (主殿頭) · 久世広明 (大和守) · 松平康福 (周防守) · 牧野貞長 (越中守)	4人
天明5年	松平康福 (周防守) · 牧野貞長 (越中守) · 田沼意次 (主殿頭) · 水野忠友 (出羽守)	4人

天明6年	松平康福(周防守)・牧野貞長(越中守)・ <u>田沼意次(主殿頭)</u> ・水野忠友(出羽守)・ <u>鳥居忠意(丹波守)</u>	5人
天明7年	牧野貞長(越中守・備後守)(注2)・水野忠友(出羽守)・鳥居忠意(丹波守)・松平康福(周防守)・ <u>阿部正倫(伊勢守)</u> (注3)・ <u>松平定信(越中守)</u> (注4)	6人
天明8年	<u>水野忠友(出羽守)</u> ・鳥居忠意(丹波守)・ <u>松平康福(周防守)</u> ・牧野貞長(備後守)・ <u>松平信明(伊豆守)</u> ①	5人
寛政元年	<u>牧野貞長(備後守)</u> ・鳥居忠意(丹波守)・松平信明(伊豆守)・ <u>松平乘完(和泉守)</u>	4人
寛政2年	松平信明(伊豆守)・鳥居忠意(丹波守)・松平乘完(和泉守)	3人
寛政3年	松平信明(伊豆守)・ <u>戸田氏教(采女正)</u> ・鳥居忠意(丹波守)・松平乘完(和泉守)	4人
寛政4年	松平乘完(和泉守)・戸田氏教(采女正)・ <u>鳥居忠意(丹波守)</u> ・松平信明(伊豆守)	4人
寛政5年	松平信明(伊豆守)・ <u>松平乘完(和泉守)</u> ・戸田氏教(采女正)・ <u>太田資愛(備中守)</u> ・ <u>安藤信成(対馬守)</u>	5人
寛政6年	戸田氏教(采女正)・太田資愛(備中守)・安藤信成(対馬守)・松平信明(伊豆守)	4人
寛政7年	安藤信成(対馬守)・戸田氏教(采女正)・松平信明(伊豆守)・太田資愛(備中守)	4人
寛政8年	太田資愛(備中守)・安藤信成(対馬守)・松平信明(伊豆守)・戸田氏教(采女正)	4人
寛政9年	太田資愛(備中守)・安藤信成(対馬守)・松平信明(伊豆守)・戸田氏教(采女正)	4人
寛政10年	安藤信成(対馬守)・松平信明(伊豆守)・戸田氏教(采女正)・太田資愛(備中守)	4人
寛政11年	安藤信成(対馬守)・松平信明(伊豆守)・太田資愛(備中守)・戸田氏教(采女正)	4人
寛政12年	戸田氏教(采女正)・松平信明(伊豆守)・ <u>太田資愛(備中守)</u> ・安藤信成(対馬守)	4人
享和元年	松平信明(伊豆守)・安藤信成(対馬守)・戸田氏教(采女正)・ <u>牧野忠精(備前守)</u>	4人
享和2年	松平信明(伊豆守)・ <u>安藤信成(対馬守)</u> ・戸田氏教(采女正)・牧野忠精(備前守)	4人
享和3年	戸田氏教(采女正)・牧野忠精(備前守)・ <u>松平信明(伊豆守)</u> ①・ <u>土井利厚(大炊頭)</u>	4人
文化元年	牧野忠精(備前守)・土井利厚(大炊頭)・戸田氏教(采女正)・ <u>青山忠裕(下野守)</u>	4人
文化2年	土井利厚(大炊頭)・青山忠裕(下野守)・戸田氏教(采女正)・牧野忠精(備前守)	4人
文化3年	青山忠裕(下野守)・牧野忠精(備前守)・ <u>戸田氏教(采女正)</u> ・ <u>松平信明(伊豆守)</u> ②・土井利厚(大炊頭)	5人

文化4年	青山忠裕 (下野守) ・土井利厚 (大炊頭) ・松平信明 (伊豆守) ・牧野忠精 (備前守)	4人
文化5年	青山忠裕 (下野守) ・土井利厚 (大炊頭) ・松平信明 (伊豆守) ・牧野忠精 (備前守)	4人
文化6年	土井利厚 (大炊頭) ・松平信明 (伊豆守) ・牧野忠精 (備前守) ・青山忠裕 (下野守)	4人
文化7年	土井利厚 (大炊頭) ・松平信明 (伊豆守) ・牧野忠精 (備前守) ・青山忠裕 (下野守)	4人
文化8年	土井利厚 (大炊頭) ・松平信明 (伊豆守) ・牧野忠精 (備前守) ・青山忠裕 (下野守)	4人
文化9年	牧野忠精 (備前守) ・青山忠裕 (下野守) ・土井利厚 (大炊頭) ・松平信明 (伊豆守)	4人
文化10年	牧野忠精 (備前守) ・土井利厚 (大炊頭) ・青山忠裕 (下野守) ・松平信明 (伊豆守)	4人
文化11年	青山忠裕 (下野守) ・松平信明 (伊豆守) ・牧野忠精 (備前守) ・土井利厚 (大炊頭)	4人
文化12年	松平信明 (伊豆守) ・牧野忠精 (備前守) ・青山忠裕 (下野守) ・土井利厚 (大炊頭) ・酒井忠進 (若狭守)	5人
文化13年	土井利厚 (大炊頭) ・松平信明 (伊豆守) ・酒井忠進 (若狭守) ・青山忠裕 (下野守) ・牧野忠精 (備前守)	5人
文化14年	酒井忠進 (若狭守) ・土井利厚 (大炊頭) ・松平信明 (伊豆守) ② ・青山忠裕 (下野守) ・阿部正精 (備中守)	5人
文政元年	酒井忠進 (若狭守) ・阿部正精 (備中守) ・青山忠裕 (下野守) ・土井利厚 (大炊頭) ・水野忠成 (出羽守) ・大久保忠真 (加賀守)	6人
文政2年	阿部正精 (備中守) ・青山忠裕 (下野守) ・土井利厚 (大炊頭) ・水野忠成 (出羽守) ・大久保忠真 (加賀守)	5人
文政3年	水野忠成 (出羽守) ・土井利厚 (大炊頭) ・阿部正精 (備中守) ・青山忠裕 (下野守) ・大久保忠真 (加賀守)	5人
文政4年	大久保忠真 (加賀守) ・青山忠裕 (下野守) ・水野忠成 (出羽守) ・阿部正精 (備中守) ・土井利厚 (大炊頭)	5人
文政5年	大久保忠真 (加賀守) ・土井利厚 (大炊頭) ・阿部正精 (備中守) ・青山忠裕 (下野守) ・水野忠成 (出羽守)	5人
文政6年	大久保忠真 (加賀守) ・松平乘寛 (和泉守) ・青山忠裕 (下野守) ・水野忠成 (出羽守)	4人
文政7年	松平乘寛 (和泉守) ・大久保忠真 (加賀守) ・松平輝延 (右京大夫) ・青山忠裕 (下野守) ・水野忠成 (出羽守)	5人
文政8年	松平輝延 (右京大夫) ・大久保忠真 (加賀守) ・松平乘寛 (和泉守) ・青山忠裕 (下野守) ・水野忠成 (出羽守)	5人
文政9年	大久保忠真 (加賀守) ・松平乘寛 (和泉守) ・水野忠成 (出羽守) ・青山忠裕 (下野守)	4人
文政10年	大久保忠真 (加賀守) ・松平乘寛 (和泉守) ・水野忠成 (出羽守) ・青山忠裕 (下野守) ・松平康任 (周防守)	5人

文政11年	松平康任（周防守）・大久保忠真（加賀守）・松平乘寛（和泉守）・水野忠成（出羽守）・青山忠裕（下野守）	5人
文政12年	松平乘寛（和泉守）・水野忠成（出羽守）・青山忠裕（下野守）・松平康任（周防守）・大久保忠真（加賀守）	5人
天保元年	青山忠裕（下野守）・大久保忠真（加賀守）・松平乘寛（和泉守）・水野忠成（出羽守）・松平康任（周防守）	5人
天保2年	松平乘寛（和泉守）・水野忠成（出羽守）・大久保忠真（加賀守）・松平康任（周防守）	4人
天保3年	水野忠成（出羽守）・大久保忠真（加賀守）・松平康任（周防守）・松平乘寛（和泉守）	4人
天保4年	松平乘寛（和泉守）・松平康任（周防守）・大久保忠真（加賀守）・水野忠成（出羽守）	4人
天保5年	水野忠成（出羽守）・松平康任（周防守）・大久保忠真（加賀守）・水野忠邦（越前守）①・松平乘寛（和泉守）	5人
天保6年	水野忠邦（越前守）・松平康任（周防守）・松平乘寛（和泉守）・大久保忠真（加賀守）・松平宗発（伯耆守）	5人
天保7年	松平乘寛（和泉守）・大久保忠真（加賀守）・水野忠邦（越前守）・松平宗発（伯耆守）	4人
天保8年	松平宗発（伯耆守）・水野忠邦（越前守）・松平乘寛（和泉守）・太田資始（備後守）・脇坂安董（中務大輔）	5人
天保9年	太田資始（備後守）・水野忠邦（越前守）・松平乘寛（和泉守）・脇坂安董（中務大輔）	4人
天保10年	脇坂安董（中務大輔）・松平乘寛（和泉守）・水野忠邦（越前守）・太田資始（備後守）	4人
天保11年	水野忠邦（越前守）・土井利位（大炊頭）・太田資始（備後守）・脇坂安董（中務大輔）	4人
天保12年	土井利位（大炊頭）・脇坂安董（中務大輔）・太田資始（備後守）・水野忠邦（越前守）・堀田正篤（備中守）①・真田幸貫（信濃守）	6人
天保13年	堀田正篤（備中守）・土井利位（大炊頭）・水野忠邦（越前守）・真田幸貫（信濃守）	4人
天保14年	真田幸貫（信濃守）・土井利位（大炊頭）・堀田正篤（備中守）①・水野忠邦（越前守）①・阿部正弘（伊勢守）	5人
弘化元年	阿部正弘（伊勢守）・牧野忠雅（備前守）・土井利位（大炊頭）・水野忠邦（越前守）②	4人
弘化2年	牧野忠雅（備前守）・阿部正弘（伊勢守）・青山忠良（下野守）・戸田忠温（山城守）	4人
弘化3年	青山忠良（下野守）・戸田忠温（山城守）・阿部正弘（伊勢守）・牧野忠雅（備前守）	4人
弘化4年	戸田忠温（山城守）・阿部正弘（伊勢守）・牧野忠雅（備前守）・青山忠良（下野守）	4人
嘉永元年	阿部正弘（伊勢守）・青山忠良（下野守）・牧野忠雅（備前守）・戸田忠温（山城守）・松平乘全（和泉守）①・松平忠優（伊賀守）①	6人

嘉永2年	阿部正弘 (伊勢守) ・ 戸田忠温 (山城守) ・ 牧野忠雅 (備前守) ・ 松平乗全 (和泉守) ・ 松平忠優 (伊賀守)	5人
嘉永3年	松平乗全 (和泉守) ・ 牧野忠雅 (備前守) ・ 阿部正弘 (伊勢守) ・ 戸田忠温 (山城守) ・ 松平忠優 (伊賀守)	5人
嘉永4年	阿部正弘 (伊勢守) ・ 松平乗全 (和泉守) ・ 松平忠優 (伊賀守) ・ 牧野忠雅 (備前守) ・ 戸田忠温 (山城守)	5人
嘉永5年	松平忠優 (伊賀守) ・ 久世広周 (出雲守・大和守) (注5) ・ 牧野忠雅 (備前守) ・ 阿部正弘 (伊勢守) ・ 松平乗全 (和泉守)	5人
嘉永6年	久世広周 (大和守) ・ 阿部正弘 (伊勢守) ・ 松平忠優 (伊賀守) ・ 牧野忠雅 (備前守) ・ 松平乗全 (和泉守) ・ 内藤信親 (紀伊守)	6人
安政元年	阿部正弘 (伊勢守) ・ 久世広周 (大和守) ・ 牧野忠雅 (備前守) ・ 内藤信親 (紀伊守) ・ 松平乗全 (和泉守) ・ 松平忠優 (伊賀守)	6人
安政2年	内藤信親 (紀伊守) ・ 牧野忠雅 (備前守) ・ 久世広周 (大和守) ・ 阿部正弘 (伊勢守) ・ 松平忠優 (伊賀守) ① ・ 松平乗全 (和泉守) ①	6人
安政3年	久世広周 (大和守) ・ 牧野忠雅 (備前守) ・ 堀田正篤 (備中守) ② ・ 阿部正弘 (伊勢守) ・ 内藤信親 (紀伊守)	5人
安政4年	阿部正弘 (伊勢守) ・ 久世広周 (大和守) ・ 牧野忠雅 (備前守) ・ 内藤信親 (紀伊守) ・ 松平忠固 (伊賀守) ② (注6)	5人
安政5年	内藤信親 (紀伊守) ・ 脇坂安宅 (中務大輔) ・ 久世広周 (大和守) ・ 松平忠固 (伊賀守) ② ・ 間部詮勝 (下総守) ② (注7) ・ 松平乗全 (和泉守) ②	6人

【注】

- 1 阿部正允は、安永9年10月に1回月番を勤めただけである。つまり、安永9年10月の月番が最初で最後の月番であった。この阿部正允が署名した老中奉書（城郭修補許可）は管見の限り、現段階では1通も発見（確認）していない。
- 2 牧野貞長は、『寛政重修諸家譜』によれば、天明7年6月19日に越中守から備後守になった。
- 3 阿部正倫は、天明7年7月と同年12月に2回月番を勤めただけである。つまり、天明7年に2回月番を勤めただけであり、この阿部正倫が署名した老中奉書（城郭修補許可）は管見の限り、現段階では1通も発見（確認）していない。
- 4 松平定信は、天明7年11月に1回月番を勤めただけである。つまり、天明7年11月の月番が最初で最後の月番であった。松平定信が老中の在任期間中、1回しか月番を勤めなかった理由は不詳である。
- 5 久世広周は、『内閣文庫蔵諸侯年表』によれば、嘉永元年10月18日に出雲守から大和守になっている。よって、『日本歴史』の老中月番表では嘉永5年2月の箇所では「久世出雲守」となっているが、嘉永5年の時点では「久世大和守」が正しいので、この点については史料批判が必要である。
- 6 松平忠優と松平忠固は同一人物であるので、再役ということになる。
- 7 間部詮勝は、再役の老中就任期間（安政5年6月23日～安政6年12月24日）は本丸老中であったため月番を勤めているが、最初の老中就任期間（天保11年1月13日～天保14年閏9月21日）は西丸老中であったため月番を勤めていない。

表 2

【凡例 1】一覧表 A=『角川新版日本史辞典』、一覧表 B=『国史大辞典』、一覧表 C=美和信夫『江戸幕府職制の基礎的研究』、柳営補任=『柳営補任』、月番表=荒川秀俊「老中月番表」(『日本歴史』267号)を示す。

【凡例 2】~~~~~ …最初(或いは、最後)に月番を勤めた年月との関係から年月日に疑義があるもの。

【凡例 3】月番期間における()内の回数は月番を勤めた回数を示す(前掲・荒川秀俊「老中月番表」をもとに、月番を勤めた回数をカウントした)。

【凡例 4】▼…老中首座を勤めた老中を示す。

【凡例 5】再役を勤めた老中については、1回目と2回目を①、②というように区別した。

酒井忠知(雅楽頭) ▼	延享元年9月18日～寛延2年1月15日(4年4ヶ月) 延享元年5月1日～寛延2年1月15日 延享元年5月1日～寛延2年1月15日(4年9ヶ月) 延享元年5月1日(西丸老中)～ 延享元年9月18日(本丸老中)～ 寛延2年1月15日(播磨国内へ移封) 年月未詳～寛延元年閏10月(3回)(注1)	在任期間(一覧表 A) 在任期間(一覧表 B) 在任期間(一覧表 C) 就任期(柳営補任) 就任期(柳営補任) 退任期か?(柳営補任) 月番期間(月番表)
堀田正亮(相模守) ▼	延享2年11月13日～宝暦11年2月8日(15年3ヶ月) 延享2年12月12日～宝暦11年2月11日 延享2年11月13日～宝暦11年2月8日(16年3ヶ月) 延享2年12月12日～宝暦11年2月11日(死去) 年月未詳～宝暦10年11月(33回)(注2)	在任期間(一覧表 A) 在任期間(一覧表 B) 在任期間(一覧表 C) 在任期間(柳営補任) 月番期間(月番表)
松平武元(右近将監) ▼	延享4年9月3日～安永8年7月25日(31年10ヶ月) 延享3年5月15日～安永8年7月29日 延享3年5月15日～安永8年7月25日(33年2ヶ月) 延享3年5月15日(西丸老中)～ 延享4年6月1日(本丸老中)～ 安永8年7月29日(死去) 年月未詳～安永8年1月(90回)(注3)	在任期間(一覧表 A) 在任期間(一覧表 B) 在任期間(一覧表 C) 就任期(柳営補任) 就任期(柳営補任) 退任期(柳営補任) 月番期間(月番表)
本多正珍(伯耆守)	延享3年10月25日～宝暦8年9月2日(11年11ヶ月) 延享3年10月25日～宝暦8年9月23日 延享3年10月25日～宝暦8年9月2日(11年10ヶ月) 延享3年10月25日～宝暦8年9月23日 年月未詳～宝暦8年1月(28回)(注4)	在任期間(一覧表 A) 在任期間(一覧表 B) 在任期間(一覧表 C) 在任期間(柳営補任) 月番期間(月番表)

<p>酒井忠寄 (左衛門尉) ▼</p>	<p>寛延2年9月28日～宝暦14年5月16日 (14年8ヶ月) 寛延2年9月28日～明和元年 (宝暦14年) 5月26日 寛延2年9月28日～明和元年5月16日 (14年8ヶ月) 寛延2年9月28日～宝暦14年5月26日 寛延2年12月～明和元年 (宝暦14年) 5月 (45回)</p>	<p>在任期間 (一覽表 A) 在任期間 (一覽表 B) 在任期間 (一覽表 C) 在任期間 (柳営補任) 月番期間 (月番表)</p>
<p>西尾忠尚 (隱岐守)</p>	<p>寛延4年4月23日～宝暦10年3月10日 (8年11ヶ月) <u>延享2年9月1日</u>～宝暦10年3月10日 <u>延享2年9月1日</u>～宝暦10年3月10日 (14年7ヶ月) 延享2年9月1日 (西丸老中)～ 延享3年5月13日 (本丸老中)～ 延享4年3月1日 (大御所〔吉宗〕付の老中)～ 寛延4年7月12日 (老中末席)～ 宝暦10年3月10日 (死去) 宝暦2年7月～宝暦9年11月 (19回)</p>	<p>在任期間 (一覽表 A) 在任期間 (一覽表 B) 在任期間 (一覽表 C) 就任期 (柳営補任) 就任期 (柳営補任) 就任期 (柳営補任) 就任期 (柳営補任) 退任期 (柳営補任) 月番期間 (月番表)</p>
<p>秋元涼朝 (但馬守)</p>	<p>宝暦10年4月1日～宝暦14年3月24日 (3年11ヶ月) <u>延享4年9月3日</u>～明和元年 (宝暦14年) 3月24日 <u>延享4年9月3日</u>～明和元年3月24日 (16年6ヶ月) 延享4年9月3日 (西丸老中)～ 宝暦10年4月1日 (本丸老中)～ 宝暦14年3月24日 宝暦10年8月～宝暦13年9月 (9回)</p>	<p>在任期間 (一覽表 A) 在任期間 (一覽表 B) 在任期間 (一覽表 C) 就任期 (柳営補任) 就任期 (柳営補任) 退任期 (柳営補任) 月番期間 (月番表)</p>
<p>松平輝高 (右京大夫) ▼</p>	<p>宝暦8年10月18日～宝暦10年5月6日 (1年7ヶ月) 宝暦11年8月2日～天明元年9月26日 (20年2ヶ月) <u>宝暦8年10月18日</u>～天明元年9月26日 <u>宝暦8年10月18日</u>～天明元年9月25日 (22年11ヶ月) 宝暦8年10月18日 (老中)～ 宝暦10年5月6日 (大御所〔家重〕付の老中)～ 宝暦11年8月2日 (老中末席) 宝暦11年12月1日 (老中…加判列) 天明元年9月26日 (死去)</p>	<p>在任期間 (一覽表 A) 在任期間 (一覽表 A) 在任期間 (一覽表 B) 在任期間 (一覽表 C) 就任期 (柳営補任) 就任期 (柳営補任) 就任期 (柳営補任) 就任期 (柳営補任) 退任期 (柳営補任)</p>

	宝暦12年1月～天明元年7月(60回)	月番期間(月番表)
井上利容(河内守)	宝暦10年12月3日～宝暦13年3月13日 宝暦10年12月3日～宝暦13年3月13日 宝暦10年12月3日～宝暦13年3月13日 宝暦10年12月3日～宝暦13年3月13日 宝暦11年4月～宝暦12年10月(6回)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 在任期間(柳営補任) 月番期間(月番表)
松平康福(周防守) ▼	宝暦13年12月11日～天明8年4月3日(24年4ヶ月) <u>宝暦12年12月9日～天明8年4月3日</u> <u>宝暦12年12月9日～天明8年4月3日</u> (25年4ヶ月) 宝暦12年12月9日(西丸老中)～ 宝暦13年12月11日(本丸老中の人数が少ないため、本丸老中の月番と加判を兼任) 宝暦14年(明和元年)5月1日(老中…加判列) 天明8年4月3日 明和元年2月～天明8年3月(74回)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳営補任) 就任期(柳営補任) 就任期(柳営補任) 退任期(柳営補任) 月番期間(月番表)
阿部正右(伊予守)	<u>明和2年12月22日～明和6年7月12日</u> (3年6ヶ月) 明和元年5月1日～明和6年7月12日 明和元年5月1日～明和6年7月12日(5年2ヶ月) 宝暦14年5月1日(西丸老中)～ 明和元年11月19日(本丸老中の人数が少ないため、本丸老中の月番と加判を兼任) 明和2年12月22日(老中…加判列) 明和6年7月12日(死去) 明和元年12月～明和6年3月(15回)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳営補任) 就任期(柳営補任) 就任期(柳営補任) 退任期(柳営補任) 月番期間(月番表)
板倉勝清(佐渡守)	明和6年8月18日～安永9年6月28日(10年10ヶ月) <u>明和4年7月1日～安永9年6月28日</u> <u>明和4年7月1日～安永9年6月28日</u> (13年) 明和4年7月1日(西丸老中)～ 明和6年8月18日(老中…加判列) 安永9年6月28日(死去) 明和6年11月～安永9年6月(29回)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳営補任) 就任期(柳営補任) 退任期(柳営補任) 月番期間(月番表)
田沼意次(主殿頭)	明和9年1月15日～天明6年8月27日(14年7ヶ月) <u>明和6年8月18日～天明6年8月27日</u> <u>明和6年8月18日～天明6年8月27日</u> (17年) 明和6年8月18日(老中格)～ 明和9年1月15日(老中…加判列。月番も勤める)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳営補任) 就任期(柳営補任)

	天明6年8月27日 安永元年5月～天明6年7月 (45回)	退任期 (柳営補任) 月番期間 (月番表)
阿部正允 (豊後守)	安永8年4月16日～安永9年11月24日 (1年7ヶ月) <u>明和6年8月18日～安永9年7月24日</u> <u>明和6年8月18日～安永9年11月24日</u> (11年3ヶ月) 明和6年8月18日 (西丸老中) ～ 安永8年4月16日 (本丸老中末席) ～ 安永9年7月6日 (老中…加判列) 安永9年7月24日 (死去) (注5) 安永9年10月に1回月番を勤めただけ(1回)	在任期間 (一覽表A) 在任期間 (一覽表B) 在任期間 (一覽表C) 就任期 (柳営補任) 就任期 (柳営補任) 就任期 (柳営補任) 退任期 (柳営補任) 月番期間 (月番表)
久世広明 (大和守)	天明元年9月18日～天明5年1月24日 (3年4ヶ月) 天明元年閏5月11日～天明5年1月24日 天明元年閏5月11日～天明5年1月24日 (3年8ヶ月) 天明元年閏5月11日 (西丸老中) ～ 天明元年9月18日 (本丸老中…加判列) ～ 天明5年1月24日 (死去) 天明元年10月～天明4年11月 (13回)	在任期間 (一覽表A) 在任期間 (一覽表B) 在任期間 (一覽表C) 就任期 (柳営補任) 就任期 (柳営補任) 退任期 (柳営補任) 月番期間 (月番表)
牧野貞長 (越中守)	天明4年5月15日～寛政2年2月2日 (5年9ヶ月) 天明4年5月11日～寛政2年2月2日 天明4年5月11日～寛政2年2月2日 (5年9ヶ月) 天明4年5月11日 (老中) 天明7年12月4日～寛政元年12月25日 (勝手掛老中) 寛政2年2月2日 天明4年9月～寛政元年9月 (17回)	在任期間 (一覽表A) 在任期間 (一覽表B) 在任期間 (一覽表C) 就任期 (柳営補任) 在任期間 (柳営補任) 退任期 (柳営補任) 月番期間 (月番表)
水野忠友 (出羽守)	天明5年1月29日～天明8年3月28日 (3年2ヶ月) <u>天明元年9月18日～天明8年3月28日</u> <u>天明元年9月18日～天明8年3月28日</u> (6年6ヶ月) 天明元年9月18日 (老中格) ～ 天明元年10月1日 (勝手掛老中) ～ 天明8年3月28日 天明5年4月～天明8年1月 (9回)	在任期間 (一覽表A) 在任期間 (一覽表B) 在任期間 (一覽表C) 就任期 (柳営補任) 就任期 (柳営補任) 退任期 (柳営補任) 月番期間 (月番表)
鳥居忠意 (丹波守)	天明6年閏10月1日～寛政5年2月29日 (6年4ヶ月) <u>天明元年9月18日～寛政5年2月29日</u>	在任期間 (一覽表A) 在任期間 (一覽表B)

	<p>天明元年9月18日～寛政5年2月29日(11年5ヶ月)</p> <p>天明元年9月18日(西丸老中)～</p> <p>天明6年閏10月1日(本丸老中…加判列)～</p> <p>寛政5年2月29日</p> <p>天明6年11月～寛政4年11月(21回)</p>	<p>在任期間(一覽表C)</p> <p>就任期(柳營補任)</p> <p>就任期(柳營補任)</p> <p>退任期(柳營補任)</p> <p>月番期間(月番表)</p>
阿部正倫(伊勢守)	<p>天明7年3月7日～天明8年2月28日(11ヶ月)</p> <p>天明7年3月7日～天明8年2月29日</p> <p>天明7年3月7日～天明8年2月29日(1年)</p> <p>天明7年3月7日～天明8年2月29日</p> <p>天明7年7月と12月に2回月番を勤めただけ(2回)</p>	<p>在任期間(一覽表A)</p> <p>在任期間(一覽表B)</p> <p>在任期間(一覽表C)</p> <p>在任期間(柳營補任)</p> <p>月番期間(月番表)</p>
松平定信(越中守) ▼	<p>天明7年6月19日～寛政5年7月23日(6年1ヶ月)</p> <p>天明7年6月19日～寛政5年7月23日</p> <p>天明7年6月19日～寛政5年7月23日(6年1ヶ月)</p> <p>天明7年6月19日(老中)～</p> <p>寛政元年12月26日(勝手掛老中)～</p> <p>寛政5年7月23日</p> <p>天明7年11月に1回月番を勤めただけ(1回)</p>	<p>在任期間(一覽表A)</p> <p>在任期間(一覽表B)</p> <p>在任期間(一覽表C)</p> <p>就任期(柳營補任)</p> <p>就任期(柳營補任)</p> <p>退任期(柳營補任)</p> <p>月番期間(月番表)</p>
松平信明(伊豆守) ① ▼	<p>天明8年4月4日～享和3年12月22日(15年8ヶ月)</p> <p>天明8年4月4日～享和3年12月22日</p> <p>天明8年4月4日～享和3年12月22日(15年9ヶ月)</p> <p>天明8年4月4日(老中)～</p> <p>寛政4年8月30日～寛政7年(勝手掛老中)</p> <p>享和3年12月22日(死去)</p> <p>天明8年7月～享和3年10月(50回)</p>	<p>在任期間(一覽表A)</p> <p>在任期間(一覽表B)</p> <p>在任期間(一覽表C)</p> <p>就任期(柳營補任)</p> <p>在任期間(柳營補任)</p> <p>退任期(柳營補任)</p> <p>月番期間(月番表)</p>
松平乗完(和泉守)	<p>寛政元年4月11日～寛政5年8月19日(4年4ヶ月)</p> <p>寛政元年4月11日～寛政5年8月15日</p> <p>寛政元年4月11日～寛政5年8月19日(4年4ヶ月)</p> <p>寛政元年4月11日～寛政5年8月15日(死去)</p> <p>寛政元年8月～寛政5年6月(15回)</p>	<p>在任期間(一覽表A)</p> <p>在任期間(一覽表B)</p> <p>在任期間(一覽表C)</p> <p>在任期間(柳營補任)</p> <p>月番期間(月番表)</p>
戸田氏教(采女正) ▼	<p>寛政2年11月16日～文化3年4月26日(15年5ヶ月)</p> <p>寛政2年10月16日～文化3年4月26日</p> <p>寛政2年11月16日～文化3年4月26日(15年5ヶ月)</p>	<p>在任期間(一覽表A)</p> <p>在任期間(一覽表B)</p> <p>在任期間(一覽表C)</p>

	寛政2年10月16日(老中)～ 寛政5年10月～寛政8年(勝手掛老中) 文化3年4月26日(死去) 寛政3年2月～文化3年3月(51回)	就任期(柳営補任) 在任期間(柳営補任) 退任期(柳営補任) 月番期間(月番表)
太田資愛(備中守)	寛政5年3月1日～享和元年6月7日(8年3ヶ月) 寛政5年3月1日～享和元年6月7日 寛政5年3月1日～享和元年6月7日(8年3ヶ月) 寛政5年3月1日～享和元年6月7日 寛政5年5月～寛政12年10月(23回)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 在任期間(柳営補任) 月番期間(月番表)
安藤信成(対馬守)	寛政5年8月24日～享和2年9月28日(9年1ヶ月) 寛政5年8月24日～ <u>文化7年5月24日</u> 寛政5年8月24日～ <u>文化7年5月24日</u> (16年9ヶ月) 寛政5年8月24日(老中)～ 享和2年9月28日(若君様〔家慶〕付の西丸老中)⇒この時、本丸老中は退任 文化7年5月24日(死去) 寛政5年12月～享和2年6月(29回)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳営補任) 就任期(柳営補任) 退任期(柳営補任) 月番期間(月番表)
牧野忠精(備前守) ▼	享和元年7月11日～文化13年10月13日(15年3ヶ月) 享和元年7月11日～文化13年10月13日 享和元年7月11日～文化13年10月13日(15年3ヶ月) 享和元年7月11日(老中)～ 文化3年4月29日～文化13年9月15日(勝手掛老中) 文化13年10月13日 享和元年12月～文化13年閏8月(47回)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳営補任) 在任期間(柳営補任) 退任期(柳営補任) 月番期間(月番表)
土井利厚(大炊頭) ▼	享和2年10月19日～文政5年7月8日(19年9ヶ月) 享和2年10月19日～文政5年7月8日 享和2年10月19日～文政5年7月8日(19年9ヶ月) 享和2年10月19日(老中)～ 文化13年9月25日(勝手掛老中)～ 文政5年7月8日(死去) 享和3年3月～文政5年6月(51回)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳営補任) 就任期(柳営補任) 退任期(柳営補任) 月番期間(月番表)
青山忠裕(下野守) ▼	享和4年1月23日～天保6年5月6日(31年4ヶ月)	在任期間(一覽表A)

	文化元年（享和4年）1月23日～天保6年5月6日 文化元年（享和4年）1月23日～天保6年5月6日（31年3ヶ月） 享和4年1月23日（老中）～ 文化13年9月25日～文政2年4月25日（勝手掛老中） 天保6年5月6日 文化元年（享和4年）6月～天保元年5月（79回）	在任期間（一覽表B） 在任期間（一覽表C） 就任期（柳営補任） 在任期間（柳営補任） 退任期（柳営補任） 月番期間（月番表）
松平信明（伊豆守）② ▼	文化3年5月28日～文化14年8月29日（11年3ヶ月） 文化3年5月25日～文化14年8月29日 文化3年5月25日～文化14年8月29日（11年3ヶ月） 文化3年5月25日～文化14年8月29日（死去） 文化3年7月～文化14年6月（35回）	在任期間（一覽表A） 在任期間（一覽表B） 在任期間（一覽表C） 在任期間（柳営補任） 月番期間（月番表）
酒井忠進（若狭守）	文化12年4月15日～文政元年7月23日（3年3ヶ月） 文化12年4月15日～ <u>文政11年1月28日</u> 文化12年4月15日～ <u>文政11年1月28日</u> （12年9ヶ月） 文化12年4月15日（老中）～ 文政元年7月23日（西丸老中）～ 文政11年1月28日（死去） 文化12年10月～文政元年7月（9回）	在任期間（一覽表A） 在任期間（一覽表B） 在任期間（一覽表C） 就任期（柳営補任） 就任期（柳営補任） 退任期（柳営補任） 月番期間（月番表）
阿部正精（備中守）	文化14年8月25日～文政6年10月11日（6年2ヶ月） 文化14年8月25日～文政6年10月11日 文化14年8月25日～文政6年10月11日（6年2ヶ月） 文化14年8月25日～文政6年10月11日（死去） 文化14年11月～文政5年12月（15回）	在任期間（一覽表A） 在任期間（一覽表B） 在任期間（一覽表C） 在任期間（柳営補任） 月番期間（月番表）
水野忠成（出羽守）	文政元年8月2日～天保5年2月28日（15年6ヶ月） 文政元年8月20日～天保5年2月28日 <u>文化14年8月23日</u> ～天保5年2月28日（16年6ヶ月） 文政元年8月20日（老中。勝手掛老中も兼任）～ 天保5年2月28日（死去） 文政元年11月～天保5年1月（42回）	在任期間（一覽表A） 在任期間（一覽表B） 在任期間（一覽表C） 就任期（柳営補任） 退任期（柳営補任） 月番期間（月番表）
大久保忠真（加賀守） ▼	文政元年8月2日～天保8年3月19日（18年7ヶ月）	在任期間（一覽表A）

	<p>文政元年8月2日～天保8年3月19日 文政元年8月2日～天保8年3月19日 (18年8ヶ月) 文政元年8月2日 (老中) ～ 天保5年3月12日 (勝手掛老中) ～ 天保8年3月19日 (死去) 文政元年12月～天保7年11月 (52回)</p>	<p>在任期間 (一覽表 B) 在任期間 (一覽表 C) 就任期 (柳營補任) 就任期 (柳營補任) 退任期 (柳營補任) 月番期間 (月番表)</p>
松平乗寛 (和泉守) ▼	<p>文政5年9月3日～天保10年12月2日 (17年3ヶ月) 文政5年9月3日～天保10年12月2日 文政5年9月3日～天保10年12月2日 (17年2ヶ月) 文政5年9月3日～天保10年12月2日 文政6年2月～天保10年10月 (50回)</p>	<p>在任期間 (一覽表 A) 在任期間 (一覽表 B) 在任期間 (一覽表 C) 在任期間 (柳營補任) 月番期間 (月番表)</p>
松平輝延 (右京大夫)	<p>文政6年11月13日～文政8年2月17日 (1年3ヶ月) 文政6年11月3日～文政8年2月17日 文政6年11月13日～文政8年2月17日 (1年3ヶ月) 文政6年11月3日～文政8年2月17日 (死去) 文政7年3月～文政8年1月 (3回)</p>	<p>在任期間 (一覽表 A) 在任期間 (一覽表 B) 在任期間 (一覽表 C) 在任期間 (柳營補任) 月番期間 (月番表)</p>
松平康任 (周防守)	<p>文政9年11月23日～天保6年9月29日 (8年10ヶ月) 文政9年11月23日～天保6年9月29日 文政9年11月23日～天保6年9月29日 (8年10ヶ月) 文政9年11月23日 (老中) ～ 天保5年3月11日 (勝手掛老中) ～ 天保6年9月29日 文政10年5月～天保6年9月 (27回)</p>	<p>在任期間 (一覽表 A) 在任期間 (一覽表 B) 在任期間 (一覽表 C) 就任期 (柳營補任) 就任期 (柳營補任) 退任期 (柳營補任) 月番期間 (月番表)</p>
水野忠邦 (越前守) ① ▼	<p>天保5年3月1日～天保14年閏9月13日 (9年6ヶ月) 文政11年11月23日～天保14年閏9月13日 文政11年11月22日～天保14年閏9月13日 (15年10ヶ月) 文政11年11月23日 (西丸老中) ～ 天保5年3月1日 (本丸老中) ～ 天保8年3月27日 (勝手掛老中) ～ 天保14年閏9月13日 天保5年4月～天保14年9月 (30回)</p>	<p>在任期間 (一覽表 A) 在任期間 (一覽表 B) 在任期間 (一覽表 C) 就任期 (柳營補任) 就任期 (柳營補任) 就任期 (柳營補任) 退任期 (柳營補任) 月番期間 (月番表)</p>
松平宗堯 (伯耆守)	<p>天保6年6月6日～天保7年9月4日 (1年3ヶ月)</p>	<p>在任期間 (一覽表 A)</p>

	<p>天保2年5月25日～天保11年9月18日 <u>天保2年5月25日～天保11年9月19日</u> (9年4ヶ月) 天保2年5月25日(西丸老中)～ 天保6年10月6日(本丸老中)～ 天保8年4月2日(大御所〔家齊〕付の西丸老中)～ 天保11年9月18日 天保6年12月～天保8年3月(5回)</p>	<p>在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳營補任) 就任期(柳營補任) 就任期(柳營補任) 退任期(柳營補任) 月番期間(月番表)</p>
太田資始(備後守)	<p>天保8年4月2日～天保12年6月3日(4年2ヶ月) <u>天保5年4月11日～天保12年6月3日</u> <u>天保5年4月11日～天保12年6月3日</u>(7年2ヶ月) 天保5年4月11日(西丸老中)～ 天保8年4月2日(本丸老中)～ 天保12年6月3日 天保8年5月～天保12年3月(13回)</p>	<p>在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳營補任) 就任期(柳營補任) 退任期(柳營補任) 月番期間(月番表)</p>
脇坂安董(中務大輔)	<p>天保8年7月9日～天保12年2月24日(3年8ヶ月) <u>天保7年2月16日～天保12年2月24日</u> <u>天保7年2月15日～天保12年2月24日</u>(5年) 天保7年2月16日(西丸老中格)～ 天保7年9月4日(大納言様〔家慶〕付の西丸老中) 天保8年7月9日(本丸老中)～ 天保12年2月24日(死去) 天保8年8月～天保12年閏1月(12回)</p>	<p>在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳營補任) 就任期(柳營補任) 就任期(柳營補任) 就任期(柳營補任) 退任期(柳營補任) 月番期間(月番表)</p>
松平信順(伊豆守)	<p>天保8年5月16日～天保8年8月9日(3ヶ月) 天保8年5月16日～天保8年8月5日 天保8年5月16日～天保8年8月6日(3ヶ月) 天保8年5月16日～天保8年8月5日 一(0回)</p>	<p>在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 在任期間(柳營補任) 月番期間(月番表)</p>
土井利位(大炊頭) ▼	<p>天保10年12月6日～弘化元年10月12日(4年10ヶ月) <u>天保9年4月11日～弘化元年10月12日</u> <u>天保9年4月11日～弘化元年10月12日</u>(6年6ヶ月) 天保9年4月11日(西丸老中)～ 天保10年12月6日(本丸老中)～ 天保14年閏9月15日～天保15年7月21日(勝手掛老中)</p>	<p>在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳營補任) 就任期(柳營補任) 在任期間(柳營補任)</p>

	天保15年(弘化元年)10月12日 天保11年2月～弘化元年3月(17回)	退任期(柳営補任) 月番期間(月番表)
堀田正篤(備中守)①	天保12年2月23日～天保14年閏9月8日(2年7ヶ月) <u>天保8年7月9日～天保14年閏9月8日</u> <u>天保8年7月9日～天保14年閏9月8日</u> (6年3ヶ月) 天保8年7月9日(大納言様〔家慶〕付の西丸老中)～ 天保12年3月23日(本丸老中)～ 天保14年閏9月8日(溜詰格) 天保12年5月～天保14年閏9月(8回)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳営補任) 就任期(柳営補任) 退任期か?(柳営補任) 月番期間(月番表)
真田幸貫(信濃守)	天保12年6月13日～弘化元年5月13日(2年11ヶ月) 天保12年6月13日～弘化元年5月13日 天保12年6月13日～弘化元年5月13日(2年11ヶ月) 天保12年6月13日(老中)～ 天保14年閏9月15日～天保14年12月7日(勝手掛老中) 天保15年5月13日 天保12年8月～天保14年10月(10回)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳営補任) 在任期間(柳営補任) 退任期(柳営補任) 月番期間(月番表)
阿部正弘(伊勢守)▼	天保14年閏9月11日～安政4年6月17日(13年9ヶ月) 天保14年閏9月11日～安政4年6月27日 天保14年閏9月11日～安政4年6月28日(13年9ヶ月) 天保14年閏9月11日(老中)～ 天保15年7月22日(勝手掛老中)～ 安政4年6月27日(死去) 天保14年11月～安政4年1月(40回)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳営補任) 就任期(柳営補任) 退任期(柳営補任) 月番期間(月番表)
牧野忠雅(備前守)	天保14年11月3日～安政4年9月10日(13年10ヶ月) 天保14年11月3日～安政4年9月10日 天保14年11月3日～安政4年9月10日(13年10ヶ月) 天保14年11月3日～安政4年9月10日 弘化元年2月～安政4年8月(41回)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 在任期間(柳営補任) 月番期間(月番表)
水野忠邦(越前守)② ▼	天保15年6月21日～弘化2年2月22日(8ヶ月) 弘化元年6月21日～弘化2年2月22日 弘化元年6月21日～弘化2年2月22日(8ヶ月) 天保15年6月21日～弘化2年2月22日	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 在任期間(柳営補任)

	天保15年（弘化元年）8月と11月に2回月番を勤めただけ（2回）	月番期間（月番表）
青山忠良（下野守）	弘化元年12月28日～嘉永元年5月3日（3年4ヶ月） 弘化元年12月28日～嘉永元年9月3日 弘化元年12月28日～嘉永元年9月3日（3年8ヶ月） 弘化元年12月28日～嘉永元年9月3日 弘化2年3月～嘉永元年2月（10回）	在任期間（一覽表A） 在任期間（一覽表B） 在任期間（一覽表C） 在任期間（柳営補任） 月番期間（月番表）
戸田忠温（山城守）	弘化2年3月18日～嘉永4年7月26日（6年4ヶ月） <u>天保14年11月3日</u> ～嘉永4年7月26日 <u>天保14年11月3日</u> ～嘉永4年7月26日（7年9ヶ月） 天保14年11月3日（西丸老中）～ 弘化2年3月15日（本丸老中）～ 嘉永4年7月26日（死去） 弘化2年5月～嘉永4年7月（19回）	在任期間（一覽表A） 在任期間（一覽表B） 在任期間（一覽表C） 就任期（柳営補任） 就任期（柳営補任） 退任期（柳営補任） 月番期間（月番表）
松平乗全（和泉守）①	嘉永元年10月18日～安政2年8月4日（6年10ヶ月） <u>弘化2年2月15日</u> ～安政2年8月4日 <u>弘化2年3月15日</u> ～安政2年8月4日（10年5ヶ月） 弘化2年2月15日（西丸老中）～ 嘉永元年10月18日（本丸老中）～ 安政2年8月4日 ※嘉永3年9月5日…京都へ派遣 嘉永元年11月～安政2年6月（18回）	在任期間（一覽表A） 在任期間（一覽表B） 在任期間（一覽表C） 就任期（柳営補任） 就任期（柳営補任） 退任期（柳営補任） 派遣（柳営補任） 月番期間（月番表）
松平忠優（伊賀守）①	嘉永元年10月18日～安政2年8月4日（6年10ヶ月） 嘉永元年10月18日～安政2年8月4日 嘉永元年10月18日～安政2年8月4日（6年10ヶ月） 嘉永元年10月18日～安政2年8月4日 嘉永元年12月～安政2年5月（16回）	在任期間（一覽表A） 在任期間（一覽表B） 在任期間（一覽表C） 在任期間（柳営補任） 月番期間（月番表）
久世広周（大和守）	嘉永4年12月21日～安政5年10月27日（6年10ヶ月） <u>嘉永元年10月18日</u> ～安政5年10月27日 <u>嘉永元年10月18日</u> ～安政5年10月27日（10年） 嘉永元年10月18日（西丸老中）～ 嘉永4年12月21日（本丸老中）～ 安政4年7月4日（勝手掛老中）～	在任期間（一覽表A） 在任期間（一覽表B） 在任期間（一覽表C） 就任期（柳営補任） 就任期（柳営補任） 就任期（柳営補任）

	安政5年10月27日 嘉永5年2月～安政5年7月 (20回)	退任期 (柳営補任) 月番期間 (月番表)
内藤信親 (紀伊守)	嘉永6年9月15日～文久2年5月26日 (8年8ヶ月) <u>嘉永4年12月21日～文久2年5月26日</u> <u>嘉永4年12月21日～文久2年5月26日</u> (10年5ヶ月) 嘉永4年12月21日 (西丸老中)～ 嘉永6年9月15日 (本丸老中)～ 安政6年7月20日 (勝手掛老中)～ 文久2年5月26日 嘉永6年10月～年月未詳 (13回) (注6)	在任期間 (一覽表A) 在任期間 (一覽表B) 在任期間 (一覽表C) 就任期 (柳営補任) 就任期 (柳営補任) 就任期 (柳営補任) 退任期 (柳営補任) 月番期間 (月番表)
堀田正篤 (備中守) ② ▼	安政2年10月9日～安政5年6月23日 (2年8ヶ月) 安政2年10月9日～安政5年6月23日 安政2年10月9日～安政5年6月23日 (2年8ヶ月) 安政2年10月9日 (勝手掛老中)～安政5年6月23日 ※安政5年1月21日～同年4月20日…京都へ派遣 安政3年3月と8月に2回月番を勤めただけ (2回)	在任期間 (一覽表A) 在任期間 (一覽表B) 在任期間 (一覽表C) 在任期間 (柳営補任) 派遣 (柳営補任) 月番期間 (月番表)
松平忠固 (伊賀守) ② (注7)	安政4年9月13日～安政5年6月23日 (9ヶ月) 安政4年9月13日～安政5年6月23日 安政4年9月13日～安政5年6月23日 (9ヶ月) 安政4年9月13日 (勝手掛老中)～安政5年6月23日 安政4年11月と安政5年6月に2回月番を勤めただけ (2回)	在任期間 (一覽表A) 在任期間 (一覽表B) 在任期間 (一覽表C) 在任期間 (柳営補任) 月番期間 (月番表)
脇坂安宅 (中務大輔)	安政4年8月11日～万延元年11月19日 (3年3ヶ月) 安政4年8月11日～万延元年11月29日 安政4年8月11日～万延元年11月29日 (3年4ヶ月) 安政4年8月11日～万延元年11月29日 安政5年2月～年月未詳 (3回) (注8)	在任期間 (一覽表A) 在任期間 (一覽表B) 在任期間 (一覽表C) 在任期間 (柳営補任) 月番期間 (月番表)
間部詮勝 (下総守) ② ▼ (注9)	安政5年6月23日～安政6年12月24日 (1年6ヶ月) 安政5年6月23日～安政6年12月24日 安政5年6月23日～安政6年12月24日 (1年6ヶ月)	在任期間 (一覽表A) 在任期間 (一覽表B) 在任期間 (一覽表C)

	安政5年6月23日(勝手掛老中) 安政6年7月20日(勝手掛老中) 安政6年12月24日 ※安政5年6月26日…京都へ派遣 安政5年8月～年月未詳(1回)(注10)	就任期(柳営補任) 退任期(柳営補任) 退任期(柳営補任) 派遣(柳営補任) 月番期間(月番表)
松平乗全(和泉守)② ▼	安政5年6月23日～万延元年4月28日(1年10ヶ月) 安政5年6月23日～万延元年4月28日 安政5年6月23日～万延元年4月28日(1年10ヶ月) 安政5年6月23日(老中)～ 安政6年7月20日(勝手掛老中) 万延元年閏3月6日(勝手掛老中) 万延元年4月28日 安政5年9月～年月未詳(2回)(注11)	在任期間(一覽表A) 在任期間(一覽表B) 在任期間(一覽表C) 就任期(柳営補任) 就任期(柳営補任) 退任期(柳営補任) 退任期(柳営補任) 月番期間(月番表)

※上表における在任期間(一覽表A)、在任期間(一覽表C)の各欄における()内は在任期間が何年何ヶ月であるかということを示す。これらは、一覽表A=『角川新版日本史辞典』、一覽表C=美和信夫『江戸幕府職制の基礎的研究』に記されているものをそのまま記載した。よって、同じ在任期間であっても一覽表Aと一覽表Cでは算出結果が異なるケースがある。なお、一覽表Aの阿部正弘(伊勢守)と一覽表Cの水野忠邦(越前守)②の在任期間の算出については明らかに計算違いであることがわかったので、上表において訂正した。

【注】

- 1 延享元年～同4年に月番を勤めた回数は、史料的制約により不明である。
- 2 延享2年～同4年に月番を勤めた回数は、史料的制約により不明である。
- 3 延享4年に月番を勤めた回数は、史料的制約により不明である。
- 4 延享3年～同4年に月番を勤めた回数は、史料的制約により不明である。
- 5 安永9年10月に月番を勤めているので、安永9年7月24日死去とする『柳営補任』の記載には疑義がある。なお、『寛政重修諸家譜』は安永9年11月24日死去としている。
- 6 安政6年～文久2年に月番を勤めた回数は、史料的制約により不明である。
- 7 松平忠優と松平忠固は同一人物である。
- 8 安政6年～万延元年に月番を勤めた回数は、史料的制約により不明である。
- 9 間部詮勝は、再役の老中就任期間(安政5年6月23日～安政6年12月24日)は本丸老中であつたため月番を勤めているが、最初の老中就任期間(天保11年1月13日～天保14年閏9月21日)は西丸老中であつたため月番を勤めていない。
- 10 安政6年に月番を勤めた回数は、史料的制約により不明である。
- 11 安政6年～万延元年に月番を勤めた回数は、史料的制約により不明である。

表 3

※この表は、江戸時代中・後期（寛延元年～安政5年）において老中（本丸老中）が月番を勤めた回数について、月番の回数の多い順にソートをかけたものである。

※月番の回数については、荒川秀俊「老中月番表」（『日本歴史』267号、吉川弘文館、1970年）をもとに、月番を勤めた回数をカウントした。

【凡例 1】 ■…史的制約により月番を勤めた全体の回数が不明であるもの。

【凡例 2】 再役を勤めた老中については、1回目と2回目を①、②というように区別した。

松平武元	■90回	松平信明②	35回	松平忠優①	16回	松平宗発	5回
青山忠裕	79回	堀田正亮	■33回	阿部正右	15回	酒井忠知	■3回
松平康福	74回	水野忠邦①	30回	松平乗完	15回	松平輝延	3回
松平輝高	60回	板倉勝清	29回	阿部正精	15回	脇坂安宅	■3回
大久保忠真	52回	安藤信成	29回	久世広明	13回	阿部正倫	2回
戸田氏教	51回	本多正珍	■28回	太田資始	13回	水野忠邦②	2回
土井利厚	51回	松平康任	27回	内藤信親	■13回	松平乗全②	■2回
松平信明①	50回	太田資愛	23回	脇坂安董	12回	堀田正篤②	2回
松平乗寛	50回	鳥居忠意	21回	真田幸貫	10回	松平忠固	2回
牧野忠精	47回	久世広周	20回	青山忠良	10回	阿部正允	1回
酒井忠寄	45回	西尾忠尚	19回	秋元涼朝	9回	松平定信	1回
田沼意次	45回	戸田忠温	19回	水野忠友	9回	間部詮勝②	■1回
水野忠成	42回	松平乗全①	18回	酒井忠進	9回	松平信順	0回
牧野忠雅	41回	牧野貞長	17回	堀田正篤①	8回		
阿部正弘	40回	土井利位	17回	井上利容	6回		

表 4

江戸時代中後期における各老中の在任期間

※この表は、表1に示した各老中について、『柳営補任』をもとに、本丸老中、西丸老中などに区分してそれぞれの在任期間を記載したものである。あわせて、本丸老中在任期間と月番期間との整合性についても検討した。

【凡例】 再役を勤めた老中については、1回目と2回目を①、②というように区別した。

老中名	在任期間	月番期間との整合性	備考
酒井忠知（雅楽頭）	西丸老中…延享元年5月1日～延享元年9月17日 本丸老中…延享元年9月18日～寛延2年1月15日か？	— △（注1）	
堀田正亮（相模守）	本丸老中…延享2年12月12日～宝暦11年2月11日	△（注2）	
松平武元（右近将監）	西丸老中…延享3年5月15日～延享4年5月30日 本丸老中…延享4年6月1日～安永8年7月29日	— △（注3）	
本多正珍（伯耆守）	本丸老中…延享3年10月25日～宝暦8年9月23日	△（注4）	
酒井忠寄（左衛門尉）	本丸老中…寛延2年9月28日～明和元年5月26日	○	
西尾忠尚（隠岐守）	西丸老中①…延享2年9月1日～延享3年5月12日 本丸老中①…延享3年5月13日～延享4年2月30日 西丸老中②…延享4年3月1日～宝暦元年7月11日 本丸老中②…宝暦元年7月12日～宝暦10年3月10日	— × — ○	（注5）

秋元涼朝 (但馬守)	西丸老中…延享4年9月3日～宝暦10年3月29日 本丸老中…宝暦10年4月1日～宝暦14年3月24日	— ○	
松平輝高 (右京大夫)	本丸老中①…宝暦8年10月18日～宝暦10年5月5日 西丸老中①…宝暦10年5月6日～宝暦11年8月1日 本丸老中②…宝暦11年8月2日～天明元年9月6日	× — ○	(注6)
井上利容 (河内守)	本丸老中…宝暦10年12月3日～宝暦13年3月13日	○	
松平康福 (周防守)	西丸老中…宝暦12年12月9日～明和元年4月30日 本丸老中…明和元年5月1日～天明8年4月3日	— △(注7)	(注8)
阿部正右 (伊予守)	西丸老中…明和元年5月1日～明和2年12月21日 本丸老中…明和2年12月22日～明和6年7月12日	— △(注9)	(注10)
板倉勝清 (佐渡守)	西丸老中…明和4年7月1日～明和6年8月17日 本丸老中…明和6年8月18日～安永9年6月28日	— ○	
田沼意次 (主殿頭)	老中格…明和6年8月18日～安永元年1月14日 本丸老中…安永元年1月15日～天明6年8月27日	— ○	
阿部正允 (豊後守)	西丸老中…明和6年8月18日～安永8年4月15日 本丸老中…安永8年4月16日～安永9年7月(11月カ)24日	— ×(注11)	(注12)
久世広明 (大和守)	西丸老中…天明元年閏5月11日～天明元年9月17日 本丸老中…天明元年9月18日～天明5年1月24日	— ○	
牧野貞長 (越中守)	本丸老中…天明4年5月11日～寛政2年2月2日	○	
水野忠友 (出羽守)	老中格…天明元年9月18日～天明5年1月28日 本丸老中…天明5年1月29日～天明8年3月28日	— ○	(注13)
鳥居忠意 (丹波守)	西丸老中…天明元年9月18日～天明6年9月30日 本丸老中…天明6年閏10月1日～寛政5年2月29日	— ○	
阿部正倫 (伊勢守)	本丸老中…天明7年3月7日～天明8年2月29日	○	
松平定信 (越中守)	本丸老中…天明7年6月19日～寛政5年7月23日	△(注14)	
松平信明 (伊豆守) ①	本丸老中…天明8年4月4日～享和3年12月22日	○	
松平乗完 (和泉守)	本丸老中…寛政元年4月11日～寛政5年8月15日	○	
戸田氏教 (采女正)	本丸老中…寛政2年10月16日～文化3年4月26日	○	
太田資愛 (備中守)	本丸老中…寛政5年3月1日～享和元年6月7日	○	
安藤信成 (対馬守)	本丸老中…寛政5年8月24日～享和2年9月27日 西丸老中…享和2年9月28日～文化7年5月24日	○ —	(注15)
牧野忠精 (備前守)	本丸老中…享和元年7月11日～文化13年10月13日	○	
土井利厚 (大炊頭)	本丸老中…享和2年10月19日～文政5年7月8日	○	
青山忠裕 (下野守)	本丸老中…文化元年1月23日～天保6年5月6日	△(注16)	
松平信明 (伊豆守) ②	本丸老中…文化3年5月25日～文化14年8月29日	○	
酒井忠進 (若狭守)	本丸老中…文化12年4月15日～文政元年7月22日 西丸老中…文政元年7月23日～文政11年1月28日	○ —	
阿部正精 (備中守)	本丸老中…文化14年8月25日～文政6年10月11日	○	
水野忠成 (出羽守)	本丸老中…文政元年8月20日～天保5年2月28日	○	
大久保忠真 (加賀守)	本丸老中…文政元年8月2日～天保8年3月19日	○	
松平乗寛 (和泉守)	本丸老中…文政5年9月3日～天保10年12月2日	○	

松平輝延 (右京大夫)	本丸老中…文政6年11月3日～文政8年2月17日	○	
松平康任 (周防守)	本丸老中…文政9年11月23日～天保6年9月29日	○	
水野忠邦 (越前守) ①	西丸老中…文政11年11月23日～天保5年2月30日 本丸老中…天保5年3月1日～天保14年閏9月13日	— ○	
松平宗発 (伯耆守)	西丸老中①…天保2年5月25日～天保6年10月5日 本丸老中…天保6年10月6日～天保8年4月1日 西丸老中②…天保8年4月2日～天保11年9月18日	— ○ —	
太田資始 (備後守)	西丸老中…天保5年4月11日～天保8年4月1日 本丸老中…天保8年4月2日～天保12年6月3日	— ○	
脇坂安董 (中務大輔)	西丸老中格…天保7年2月16日～天保7年9月3日 西丸老中…天保7年9月4日～天保8年7月8日 本丸老中…天保8年7月9日～天保12年2月24日	— — ○	
松平信順 (伊豆守)	本丸老中…天保8年5月16日～天保8年8月5日	—(注17)	
土井利位 (大炊頭)	西丸老中…天保9年4月11日～天保10年12月5日 本丸老中…天保10年12月6日～弘化元年10月12日	— ○	
堀田正篤 (備中守) ①	西丸老中…天保8年7月9日～天保12年3月22日 本丸老中…天保12年3月23日～天保14年閏9月8日か?	— ○	
真田幸貫 (信濃守)	本丸老中…天保12年6月13日～弘化元年5月13日	○	
阿部正弘 (伊勢守)	本丸老中…天保14年閏9月11日～安政4年6月27日	○	
牧野忠雅 (備前守)	本丸老中…天保14年11月3日～安政4年9月10日	○	
水野忠邦 (越前守) ②	本丸老中…弘化元年6月21日～弘化2年2月22日	○	
青山忠良 (下野守)	本丸老中…弘化元年12月28日～嘉永元年9月3日	○	
戸田忠温 (山城守)	西丸老中…天保14年11月3日～弘化2年3月14日 本丸老中…弘化2年3月15日～嘉永4年7月26日	— ○	
松平乗全 (和泉守) ①	西丸老中…弘化2年2月15日～嘉永元年10月17日 本丸老中…嘉永元年10月18日～安政2年8月4日	— ○	
松平忠優 (伊賀守) ①	本丸老中…嘉永元年10月18日～安政2年8月4日	○	
久世広周 (大和守)	西丸老中…嘉永元年10月18日～嘉永4年12月20日 本丸老中…嘉永4年12月21日～安政5年10月27日	— ○	
内藤信親 (紀伊守)	西丸老中…嘉永4年12月21日～嘉永6年9月14日 本丸老中…嘉永6年9月15日～文久2年5月26日	— △(注18)	
堀田正篤 (備中守)	本丸老中…安政2年10月9日～安政5年6月23日	△(注19)	
松平忠固 (伊賀守) ②	本丸老中…安政4年9月13日～安政5年6月23日	○	(注20)
脇坂安宅 (中務大輔)	本丸老中…安政4年8月11日～万延元年11月29日	△(注21)	
間部詮勝 (下総守) ②	本丸老中…安政5年6月23日～安政6年12月24日	△(注22)	
松平乗全 (和泉守) ②	本丸老中…安政5年6月23日～万延元年4月28日	△(注23)	

※前職から後職への転出 (例えば、西丸老中から本丸老中への転出などのケース) の日付については、前職の最終日と後職の最初の日は重なることになるが、上表においては、前職の最終日は、後職の最初の日の前日として記載した。

【注】

- 1 本丸老中就任～延享4年12月までの月番の具体的状況（どの月に月番を勤めたか）については、史料的制約により不明である。
- 2 本丸老中就任～延享4年12月までの月番の具体的状況（どの月に月番を勤めたか）については、史料的制約により不明である。
- 3 本丸老中就任～延享4年12月までの月番の具体的状況（どの月に月番を勤めたか）については、史料的制約により不明である。
- 4 本丸老中就任～延享4年12月までの月番の具体的状況（どの月に月番を勤めたか）については、史料的制約により不明である。
- 5 宝暦元年7月12日から本丸老中の老中末席になったが、その後、どの時期に加判列になったのかは不明である。ただし、宝暦2年7月には最初の月番を勤めているので、加判（老中奉書への署判）を勤める老中はそれぞれ月番も勤めていたとすると、宝暦2年7月の時点では加判列になっていたと考えられる。また、宝暦2年4月5日付老中奉書（彦根城修補許可）には、西尾忠尚は署判していないので、宝暦2年4月5日の時点では、加判列になっていなかった、と考えられる。よって、西尾忠尚が加判列になったのは、宝暦2年4月6日～同年6月までの間と推測できる。この点については、『寛政重修諸家譜』は、宝暦2年4月23日に「老職」となった、としているので、このことが加判列になったことを示すと考えられる。
- 6 宝暦11年8月2日～同年11月30日は老中末席であり、同年12月1日から加判列になったので、本丸老中にはなかったものの老中末席の期間は月番を勤めず（最初の月番は宝暦12年1月に勤めた）、老中奉書にも署判しなかった、と考えられる。
- 7 最初の月番は明和元年2月であるが、この時点ではいまだ本丸老中に就任していないので、後掲注8で述べるように、西丸老中として本丸老中の月番を兼任する形で月番を勤めたと考えられる。
- 8 宝暦13年12月11日から、本丸老中の人数が少ないため、本丸老中の月番と加判を兼任した。
- 9 最初の月番は明和元年12月であり、以後、明和2年4月、同年8月と月番を勤めているが、これらの時期にはいまだ本丸老中に就任していないので、後掲注10で述べるように、西丸老中として本丸老中の月番を兼任する形で月番を勤めたと考えられる。
- 10 明和元年11月19日から、本丸老中の人数が少ないため、本丸老中の月番と加判を兼任した。
- 11 安永9年10月に月番を勤めているので、安永9年7月24日死去とする『柳営補任』の記載には疑義がある。なお、『寛政重修諸家譜』は安永9年11月24日死去としている。
- 12 安永8年4月16日～同9年7月5日は老中末席であり、安永9年7月6日から加判列になったので、本丸老中にはなかったものの老中末席の期間は月番を勤めず（月番は1回しか勤めていないが、月番を勤めた月は、安永9年10月である）、老中奉書にも署判しなかった（老中末席の期間に該当する安永9年の2月7日付老中奉書〔久保田城修補許可〕には、阿部正允は署判していない）、と考えられる。
- 13 本丸老中になった時期については、『柳営補任』には記載がないが、『徳川実紀』は天明5年正月29日としている（美和信夫『江戸幕府職制の基礎的研究』、広池学園出版部、1991年、383頁）。
- 14 天明7年11月に1回月番を勤めただけであるが、1回しか月番を勤めていない理由については不詳である。松平定信は老中首座であったが、老中首座を勤めた他の老中は通常月番を勤めているので（表2参照。ただし、老中首座を勤めた堀田正篤は2回しか月番を勤めていない）、老中首座であったことが1回しか月番を勤めなかった理由とはならないだろう。
- 15 享和2年9月28日に若君様（のちの12代将軍徳川家慶）付になっているため、この日以降は西丸老中として転出したものと思われるので、享和2年9月27日に本丸老中は退任したと考えられる。最後に月番を勤めたのが享和2年6月であることもその証左となる。

- 16 最後に月番を勤めたのは天保元年5月であり、退任する天保6年5月まで5年間のブランクがあるが、天保元年6月以降、退任するまで月番を勤めなかった理由は不詳である。ちなみに、青山忠裕は天保6年3月11日付老中奉書（彦根城修補許可）には署判していないので、天保元年6月以降の月番を勤めていなかった時期には老中奉書への署判もしていなかった可能性がある。その点を考慮すると、青山忠裕の本丸老中退任時期は、天保6年5月6日（『柳営補任』）よりも早かった可能性も考えられる。
- 17 本丸老中の在任期間中に月番は一度も勤めていないが、その理由としては、在任期間が約3ヶ月というように短かったため、月番がまわってくる前に退任した形になったことが関係すると思われる。
- 18 安政5年12月～本丸老中退任までの月番の具体的状況（どの月に月番を勤めたか）については、史料的制約により不明である。
- 19 安政3年3月と同年8月に2回月番を勤めただけであり、安政4年と安政5年は月番を勤めていない。安政4年に月番を勤めなかった理由は不詳であるが、安政5年に月番を勤めなかった理由は、安政5年1月～同年4月に京都に派遣されていることが関連すると思われる。
- 20 松平忠優（伊賀守）と松平忠固（伊賀守）は同一人物である。
- 21 安政5年12月～本丸老中退任までの月番の具体的状況（どの月に月番を勤めたか）については、史料的制約により不明である。
- 22 安政5年12月～本丸老中退任までの月番の具体的状況（どの月に月番を勤めたか）については、史料的制約により不明である。
- 23 安政5年12月～本丸老中退任までの月番の具体的状況（どの月に月番を勤めたか）については、史料的制約により不明である。